

令和6年度 釧路国際ウェットランドセンター市民環境調査 実施要領

1. 目的

釧路川蛇行復元事業における河川改修の結果、再生事業の効果および事業地の水辺環境がどのように変化したか、または変化しているかについてのモニタリング調査を通じて、地域住民の自然再生への理解を深め、釧路湿原の生物多様性について関心を高める。

2. 主催 釧路国際ウェットランドセンター

3. 日時 令和6年10月12日(土) 8時30分から15時00分まで (少雨決行、荒天中止)

4. 場所 スマオロ地区旧川復元事業地(標茶町)

5. 募集人員 8名(先着順。小学5年生以上。)

6. 受付期間 令和6年9月20日(金)～10月8日(火)

- ・電話(0154-32-3110)にて受付(平日の9時～17時)
- ・定員に達し次第募集を停止します。
- ・申込時にどの項目の調査を希望するか伺いますが、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

7. 参加費 無料

8. 行程

8:20	釧路市役所集合
8:30	〃 出発(ジャンボタクシーに乗車)
9:25	標茶町内コンビニエンスストア到着(昼食購入およびお手洗い)
9:40	〃 出発
10:00	スマオロ地区旧川復元事業地到着、市民環境調査開始(適宜昼食)
13:00	〃 終了
13:10	スマオロ地区旧川復元事業地出発
13:40	塘路湖エコミュージアムセンター到着 JICA研修員を交えての意見交換会
14:20	〃 出発
15:00	釧路市役所到着

9. 持ち物 汚れてもいい服装、雨具、長靴、軍手、ゴム手袋、タオル
昼食（途中で立ち寄るコンビニで購入可）

10. 調査説明者 釧路国際ウェットランドセンター技術委員

11. 調査項目

(1) カワシンジュガイ（絶滅危惧種）の個体数測定

上流から運ばれる土砂の粒度の変化に対応して、分布するカワシンジュガイの変化が想定されることから、定点を設け、方形枠や箱メガネで定量的にカワシンジュガイの個体数をカウントする。

(2) 川床の土砂の粒度測定

蛇行河川の再生で、上流から運ばれてくる土砂の粒度の変化が想定されることから、ふるいを使用し、粒度を記録する。

(3) 河岸湿原域の土壌の水質測定

河岸から湿原域の土壌の水質（EC、pH）を記録し、再生事業による湿原の性状の変化を調査する。

12. その他

(1) 荒天の場合、中止判断につきましては朝7時に連絡します。

(2) 本調査は中米からの JICA 研修員 5 名を交えて実施します。

(3) 参加者は傷害保険に加入します。